

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

ユニット名：寿楽

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域に溶け込んだ普通の暮らし…という理念を持ち 職員は普通の暮らし、当たり前前の暮らしを個々の状況に照らし合わせながら、話し合いを重ね実践している。また、新しい職員にも、面接時、採用時に大切にしている事として伝えている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	牛乳や食材などの定期的な配達、他の施設からの新聞回収(第一月曜日)、回覧板を通じて、地域の方と交流している。また、寿楽をもっと知っていただく為にホーム便りを町内に配布している。	地域の防災訓練に参加し、地域の方にも施設の防災訓練に参加して頂き、入居者の避難を見て頂ける機会を設ける。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議はコロナ禍にて開催はせず、書面にて、入居者の暮らしや行事計画、実施状況や今後の取り組みについて報告し、行政やご家族からの意見や要望などを検討して、サービスの向上に努めている。	会議が開催できていない為、話す機会がないが、コロナ禍で他の施設も同様である。コロナが収束した折には開催し、取り組む。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議や行事の際に、入居者の暮らしや職員の対応を実際に見てもらっていたが、コロナ禍の為、今年度はできていない。困難な事例等が生じた場合には電話や直接出向いての相談、指導を受けるようにしている。	コロナが収束した折には、会議や行事に参加して頂けるように取り組む。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	三ヶ月に一度全体会を開催し、身体拘束に関する勉強会を行っている。身体拘束をしないケアを実践している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束に繋がる行為について、繰り返し学び周知できている。議事録もあり、実践できている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回、高齢者虐待防止検討委員会を開催し、虐待は絶対あってはならない事として、一人ひとりの職員が認識できている。また事例がないか話し合っている。不適切と思われる言葉がけや支援をしていると感じたら、職員間で声を掛け合い、防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回、会議を開催し、議事録もあり、実践できている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	権利擁護や成年後見人制度の研修には、参加するように努めているが、今年度は参加できていない。内容が複雑な際には地域の社会福祉協議会等に教えて頂くなど、問い合わせがあった時等には協力依頼も行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約に関する説明は管理者が行っている。各項目に従って確認しながら説明し、疑問等に対してはその都度説明を行っている。また、「わからない事や疑問に感じる事があれば、いつでも連絡下さい」との言葉を添えている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃からの信頼関係が築けるように努めている。「何か気になっている事や気付いた事はありませんか」と、職員が声を掛ける等、話し易い雰囲気作りを行っている。また要望や意見などは運営推進会議議事録として書面でも報告を行い、職員にも伝え、周知や改善に努めている。意見箱の設置も行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	要望や意見が出しやすいように配慮し、書面での報告を行い、周知や改善に努めることができています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃から、職員が意見等を出し易い職場環境を心がけている。意見等は内容に応じて、各ユニット会や職員全体会で話し合い、法人への相談を行うなど、運営に反映するように努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員との日頃の会話の中で、やりがいが持てるよう個々にアドバイスをし、必要に応じて個人面接を行っている。日頃の勤務状況を法人に報告し、処遇改善に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	悩み事を聞いて、勤務体制の調整を行い、働きやすい環境を整えることができています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内外の研修には、正職員や臨時職員を区別する事なく、参加できるように努めているが、コロナ禍の為、法人外へは今年度は参加できていない。新人職員には慣れるまでの間、肉体的・精神的にも無理のないように、相談やサポートをするなどの支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修など集まることには参加できないため、リモートでの研修、施設内の認知症の勉強会などを継続する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部からの見学依頼は、断ることなく対応を行うようにしているが、コロナ禍の為、今年度は実施できていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員目線は常に入居者と同じ目線で、ということを心がけている。言葉、行動、表情等から思いを汲み取ったり、選択してもらう場面作りを行いながら、共に暮らす者同士の関係を築いている。また、人生の先輩である事を大切にしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍にて面会制限や外出は控えている為、友人や知人の来訪や交流する機会が減少している。ガラス越しでの面会、電話や手紙などを活用したり、楽しい時間や喜んで頂けるような支援なども行っている。	受診の際にはご本人と会う機会がある。暮らしの様子もご本人や職員からの言葉で知ることができている。交流が途切れないようにしていく。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の体操後、入居者に今から何がしたいかを聞いている。また、普段の暮らしかの中で選択してもらった場面を作ったり、会話や表情から気持ちを汲み取ったりしながら、望みをかなえる事ができるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃からお本人が口にする言葉や行動をメッセージとして受け止め、また、ご家族にも伝え、相談しながら、どのように関わらなければならないかを話し合い、介護計画に繋げている。計画の見直し時期ではなくても、必要に応じてその都度見直しを行い、実践状況の確認をしている。	介護についてのアドバイスやどのような物がよいかなどを伝えてもらい、助かっている。ご本人、ご家族の気持ちも大切に話し合い、支援に繋げる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状に即した介護計画を作成することができている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に沿った記録を書くように心がけると共に、職員の気づきも個人記録に記録し、情報の共有に努め、介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気づきがあれば、個人記録に記録して、介護計画に活かすことができている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少規模ホームとしての機動力があり、ご本人・ご家族の要望に添って柔軟に対応している。コロナ禍の為、面会制限、外出は控えているが、主治医への受診や歯科医の往診の支援、可能な範囲でご本人、ご家族の要望に対応している。	コロナの収束後には何がしたいか、どこに行きたいかご本人と話したりしている。寿楽だよりや写真などで暮らしの様子を知ることができている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方から温かい支援を受けたり、防災に関して消防署のアドバイスや協力を得ている。また、町内の美容室からの出張理容、買い物等の楽しみ等、入居者が豊かに安心して暮らせる事ができるように支援しているが、コロナ禍の為、機会が減少している。	コロナ感染者数が増えており、出張理容は控えている。様子を見ながら依頼する予定をしている。コロナ収束後には外出支援をしていく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族の希望を大切に、入居前からのかかりつけ医で継続した医療を受ける事ができるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先へのお見舞いを行っている。医療機関へのサマリー提供、地域連携室、また、ご家族とも連絡を取り、情報交換、相談に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であり、お見舞いはできないが、当施設から必要な情報は提供している。今後も継続していく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	入居時に将来重度となった場合の話をしている。重度化が進んでいると考えられる場合にはできる限り早く話し合いを持ち、協力機関や法人の相談課と連携して情報を共有し、ご本人やご家族の意向を		A. 十分にできている B. ほぼできている	重度化が進んでくると考えられる時には、早めに説明を行っているが、住み替えとなると、ご家族には負担であり、話し合いを重ねて、意向を考慮しながら支援していく。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	考慮しながら納得のいく支援を心がけている。職員は経過情報の共有に努めている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で行われる救命講習には、全職員の参加を基本として調整を行っている。急変や事故が発生した場合には、後日対応について十分であったかなどの再検討をしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署の協力を得て、ホームや法人、地域での避難訓練、消火器の点検や災害時の対応等についての話し合いを行っている。緊急避難場所としては近所の駐車場を提供してもらっている。また、職員間で緊急連絡網の訓練を行っている。備蓄品は三階に準備している。	年3回、防災訓練を行い、避難訓練も行っているが、避難後の動きをどのようにしていくのか、ご家族への連絡等も具体的に決め、周知する。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練等はできている。訓練は繰り返し実施し、数をこなし、災害に備える。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を大事にしている。個人情報の取り扱いについても配慮している。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に配慮できている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースを大切にすると共に、その日の体調や気持ちにも配慮しながら、希望に添った支援に努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事作りは、一人ひとりが得意とする事に携わってもらえるように言葉かけやジェスチャーで誘い、一緒に行っている。また、具材の切り方や味付けを教わったりもしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることを見極め、一人ひとりに役割を持ってもらい、一緒に行うことができている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の栄養士に相談し、栄養バランスに配慮しながら、一日1600kcalの摂取を目安にしている。また、水分摂取はチェック表に記録し、一日1300cc以上を目標にしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアが習慣づいている方もいるが、その方の力に応じて言葉かけや支援を行っている。持っている力を発揮してもらうため、目に付く所に歯磨きセットを置くようにしている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回、歯科受診をされる方もいる。毎食後の口腔ケアを支援しており、継続して行う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後のトイレへの言葉がけと誘導、尿意や便意が感じ難い方は、排泄リズムを把握し、時間を見計らっての誘導をしている。また、トイレの照明を点け、必要に応じて図での案内も行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄リズムやパターンを把握して支援できている。 オムツ類など、ご本人に合ったものを選択している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	加齢や身体的に浴槽に入る事が難しくなってきた方には、足浴等で少しでも気持ち良くなってもらえるようにしている。また、入浴拒否がある方に対しては、誘いの言葉がけを工夫する等し、気分良く入浴できるように努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日中は活動的な支援をできるだけ行い、昼食後に1時間程度の午睡時間を取ってもらっている。夕食後は自室にてテレビを見たり、本を読んだり、日記を書いたり、穏やかに一日が終えられるように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の内容に変更があった時には、副作用に注意し、経過観察を行い、情報の共有しあえるようにしている。薬剤情報は新しいものを個人記録にセットしてすぐに確認できるようにしている。血圧の薬などの変更があった場合には、医師の指示により7~10日間は血圧測定を行い、体調に変化がないか観察している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬袋に名前、日付を印字、服薬時間での色分けを行っている。 一人ひとりの薬の内容を理解し、服薬支援できている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの個性や力を出せる場面作りを行い、笑顔を引き出せるような楽しみを考えている。庭や散歩に出て楽しんだり、その後の喫茶の時間では、皆さんの好きなものを味わってもらっている。	コーヒーなど好みの飲み物を飲むことは、楽しみになっている。 喜んで頂けるように続けていく。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	天気が良い日にはできるだけ庭で過ごしたり、散歩時に季節を感じてもらったり、心身のリフレッシュや健康の為にしている。散歩を拒否する方もいるが、庭の椅子で好みの飲みものを飲んでもらう等、屋外に出て気分転換できるように努めている。	なかなか散歩までは行きたくない方が多く、外出支援としてはあまりできていないが、お日様に当たって、外に出る、庭に出ることはよい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在の入居者の中では、1名の方がお金を所持している。コロナ禍の為、外出は控えており、出張理容時には、本人に職員がお金を手渡し、支払いをしてもらっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電話を希望する入居者には固定電話を利用してもらっている。個人的に携帯電話を持っている方もいる。また、不穏時にご家族に連絡して話すことで、ご本人に安心してもらえるように支援する場合もある。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共有空間の衛生と、四季折々の草花を生けたり、季節感を絶やさないように心がけている。特に、居間から見える庭には、季節に応じた色とりどりの草花を植えて、ゆっくりと庭を愛で、穏やかな気持ちになれるような環境作りにも力を入れている。季節の野菜なども植え、収穫出来、入居者の楽しみとなっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりが居心地よく、季節感や生活感を感じられるように取り組んでいる。
----	---------------	--	---	--	--	---	--------------------------------------

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	何をしたい、どのように暮らしたいかを伺い、毎日の生活に取り入れている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時の事前情報、ご本人、ご家族からの話のなかから、情報共有し、支援に繋がっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	バイタルチェックを行い、体調管理に努める。身体状況を把握し、環境調整を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調管理に努めることができている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族に暮らしの習慣を伺い、入居後のご本人の動きからも把握し、支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居するにあたって、買い揃えた方もいるが、自宅で使用していた家具、カバン、置物、ご家族との写真などを持つことができている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自宅と同じように家具を配置し、入居1日目から違和感なく過ごせている方もおられる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	散歩支援はできているが、希望にある買い物やドライブなどはコロナ禍の為、できていない。	散歩に行く、三階に上がるなど、気分転換をしながら、コロナ収束後は買い物やドライブなど希望を叶える支援を行う。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしの会話や動作から、一人ひとりに合わせた役割や楽しみごとを見つけ、支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの関係はできており、楽しい会話も聞かれている。協力して作業に取り組まれることも多くある。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの関係はできている。より一層いきいきと過ごせるよう支援する。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ⓓ. ほとんどできていない	散歩には出掛けているが、コロナ禍の為、関わりを持ち、交流することはできていない。	コロナ収束後は回覧板、寿楽だよりをご近所に届けたり、道で会ったら挨拶をするなど、交流を持てるよう支援を行う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とはなじみの関係ができていますが、コロナ禍の為、地域との交流はできていない。	日々の暮らしを大切にしながら、コロナ収束後は、地域の防災訓練にも参加し、地域の方と交流する機会を持つ。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではできていないことがあるため、収束後は地域と交流する機会が持てるよう取り組む。